

# 社会

## 単元を見通して課題を追究し解決する授業づくり

### 授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- ① 児童生徒が社会的事象等から問いを見だし、見通しをもって課題解決に向かうことができるよう、単元や授業を構想する。
- ② 社会的な見方・考え方を働かせて課題を追究することができるよう、資料提示と発問を工夫する。
- ③ 資料から情報を読み取る、課題解決に向けて考察する、自分の考えを表現するなどの場面において、1人1台端末の効果的な活用を図る。
- ④ 調べた事実や既習の知識を基に、互いの意見を比べたりつなげたりしながら話し合い、社会的事象の特色や相互の関連を自分の言葉でまとめ、表現する活動の充実を図る。
- ⑤ 単元の学習活動や分野の目標に応じた適切な評価規準を設定するとともに、評価方法を工夫し、評価した結果を児童生徒の学習改善や教師の指導改善に生かす。

### 調べた事実から概念などに関する知識を獲得する問題解決的な学習の例

小学校第6学年 単元名「大陸に学んだ国づくり」

#### ◇単元の目標（一部）

聖徳太子が政治を行った頃から聖武天皇が国を治めた頃までの間、天皇を中心とする国づくりが進められたことを理解する。 [知識及び技能]



#### ◇単元構成の例（全8時間）

**〔第1時〕** 聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇の肖像や当時の世の中の様子を示す資料を基に、単元の学習問題をつくり、第2～7時の学習計画を立てる。

**単元の学習問題** 聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇はどのような国づくりを目指したのだろうか。

**〔第2・3時〕** 聖徳太子の業績と大陸文化の摂取について調べる。

**学習問題** 聖徳太子はどのような国づくりをしたのだろうか。

**〔第4・5時〕** 中大兄皇子の業績について調べる。

**学習問題** 中大兄皇子はどのような国づくりをしたのだろうか。

**〔第6・7時〕** 聖武天皇の業績と仏教の発展について調べる。

**学習問題** 聖武天皇はどのような国づくりをしたのだろうか。

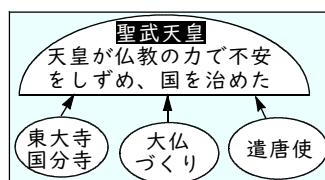
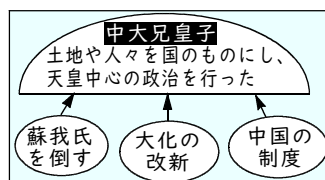
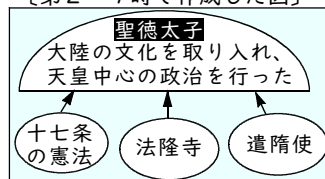
**〔第8時〕** 第2～7時で調べて分かったことを基に話し合っ、単元の学習問題についてまとめる。

単元の学習計画を立てることで、学習問題の解決に向けた見通しをもてるようにします。なお、小学校の歴史学習においては、通史として事象を網羅的に扱うのではなく、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に学習できるよう、単元を構想します。 ①



#### ◇学習活動（8/8）

〔第2～7時で作成した図〕



#### ◇本時のねらい

聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇が行った政治の共通点を話し合って見いだすことを通して、3人の目指した国づくりについて理解する。

<第2～7時に調べた内容を基にまとめる場面>

T: 聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇が行った国づくりに共通することは何か、グループで話し合って見つけましょう。

S1: 中国の政治の仕組みを取り入れたことだと思います。

S2: 仏教の影響を受けていることだと思います。

S3: 天皇を政治の中心にして、国を治めようとしたことだと思います。

T: 話し合って見つけたことを基に、単元の学習問題に対するまとめを書きましょう。

〔想定されるまとめの例〕

聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇は、中国の進んだ制度や文化を参考にして、天皇を中心とする国づくりを目指した。

これまで学んだ個別の知識について抽象化を促すことで、概念的知識を身に付けられるようにします。その際、対話を通して児童同士で考えを広げ深められるようにします。 ②④

ねらいを達成した具体的な姿を想定した上で学習状況を見取り、適切な働き掛けを通して全ての児童がねらいを達成できるようにします。 ⑤

#### ◇評価規準（一部）

3人が大陸の制度や文化を積極的に取り入れ、天皇を中心とする国づくりを進めたことを理解している。【知識・技能】（発言・記述）